

2014年度東京医科大学英語

解答

第1問

1-⑤

2-①

3-③

4-①

5-③

第2問

6-③

7-②

8-①

9-②

10-④

第3問

11-③

12-③

13-①

14-①

15-④

第4問

※解答・解説は省略されています。

第5問

⑤

⑦

⑫

⑮

⑲

第1問

1-⑤

⑤technique は第2音節,他の選択肢は第1音節が強い。○infant「幼児,小児」,○mischief「いたずら」,○nephew「甥」

2-①

①ambitious「野心のある」は第2音節を強く,他の選択肢は第1音節を強く発音する。○desperate「自暴自棄の,死に物狂いの」,○diligent「勤勉な」,○imminent「差し迫った」,○infamous「不名誉な,悪名高い」

3-③

③determine は第2音節,その他の選択肢は第1音節を強く発音する。○analyze「分析する」,○compromise「妥協,妥協によって解決する,示談にする」,○fascinate「魅惑する」,○reconcile「和解させる,一致させる」

4-①

①bilingual は第2音節を強く,その他の選択肢は第1音節を強く発音する。○compliment 「ほめ言葉」, ○incident 「(大きな事件に発展しそうな) 出来事」, ○optimist 「楽道家」, ○signature 「署名」

5-③

③disadvantage 「不利」は, 第3音節を強く発音する。disadvantage⇔advantage その他の選択肢は第2音節が強い。○ambiguous 「あいまいな」, ○authority 「権威」, ○material 「原料, 資料」, ○phenomenon 「現象」

第2問

6-③

a. 「できればお茶を飲みたいのですが。あなたも一杯飲みますか」 a cup of tea を繰り返しているので one が適切である。It で受ける場合は the+名詞など特定できるものに置き換えられる。例文 Do you have the eraser? Yes, I have it in my pocket. 「あの消しゴムある? うん, ポケットにあるよ」 Do you have a pen? Yes, I have one in my pocket. 「鉛筆ある? うん, ポケットにある」

7-②

b. 「そんな高い店に一度も行ったことがない。出てきたディナーは300ドルもした」 as much as+数+単位は「~ほど多くの~」という意味になる。○as well as 「~と同様の」, ○as far as 「~に関する限りは」

8-①

c. 「絵を描くことになると, ゆみのようにかける人はクラスに誰もいない」 When it comes to doing~ 「~することになると」が適切である。

9-②

d. 「その教授は視野を広げる為に外国に行くことをあなたに勧めています」 recommend that S should~ 「Sが~することを勧める」この文では that と should が省略されている。

10-④

e. 「彼が事実を私に話さなかったら, 私は決して彼を許さなかつたらろう」過去に起こってしまったことに対して事実とは違うことを妄想, 想像している文つまり仮定法過去完了の文

である。この問題では倒置になっているので Had が適切である。もともとは If he had not told me the facts である。

第3問

a. A : 今晚にわか雨が降るらしい。

B : どおりでどんよりしてきた。

A :

B : もちろん。

11-③

a shower 「にわか雨」

正解は③である。

① 「すてきなホテルの部屋にちがいない」

② 「ビーチに寝転がっていい日焼けができる」 get a nice tan 「かつこ良く日焼けする」

③ 「引き返したほうがいいよ」 head back 「引き返す」

④ 「その庭で食べたほうがいい」

b. A : 経理部門に移動になったと聞いたよ。

B : はい。経理についてはあまり知らないので心配です。

A :

B : ありがとうございます。

12-③

accounting department 「経理部門」

部署が移動になって心配している人に対してかける言葉は③である。

① 「このことから私を除いて下さい」

② 「私の口座を作ります」 account 「口座」

③ 「私に任せていいですよ」 count on 「頼りにする, あてにする」

④ 「あなたは考慮に入れていいですよ」 take into account 「考慮に入れる」

c. A : 何が起こったかをブラウンさんに話すべきだと思いますか。

B : 私に聞かないで。彼のことはほとんど知りません。

A : でもそうすべきだと思いますが、ちがいますか。

B :

13-①

正解は①であるが、他の選択肢の表現と意味を確認しておくといよい。

- ①「あなたに任せます」○up to ~ 「～に任せる」
- ②「私の言ったこと信じてください」○take my word for it. 「信じて本当だよ」
- ③「それで決まりです」口語表現である。○It's a deal. 「商談成立, それで決まり」, It's not a big deal 「それはたいした問題ではない」
- ④「がんばったね」

例文 You have earned it. 「(卒業できたのは) これまでがんばってきたのだから」先生や両親などが生徒にかけるねぎらいの言葉である。

d. A:車で送りますか。

B: ありがとう。大丈夫です。

A:本当に、たいしたことないですよ。午後はずっと暇なので。

B:実は,

14-①

pick up 「迎えに行く」という表現がわかれば①が正解とわかる。

- ①「兄が迎えに来ます」
- ②「夫は仕事の近くに住んでいます」
- ③「すぐにエレベーターを直す予定です」
- ④「ここに鍵を忘れていましたよ」

e. A:もしもしジョンですか。

B: はい。どちらさまですか。

A:トムだけど。渋滞にはまっています。

B:

15-④

should +完了形の形で「～すべきだったのに」という後悔を表している④が正解である。

例文 I should bought it. 「買うべきだった」, 否定形も同じように過去の時点での行為に対して、後悔を表す。I should not have bought. 「買わなければよかった」

- ①「良かったね。心配ないよ」
- ②「タクシーに乗りなさい」
- ③「弁護士に電話するべきだ」
- ④「それを予測すべきだったのに」

第4問

※解答・解説は省略されています。

第5問

和訳

音声言語は、一番の機能として、事実の情報の交換をすることである。二番目の役割は感情表現の伝達経路として機能することである。ボディランゲージがあると、その状況は逆転する。その主な機能は、気分を表すことである。

われわれは、情報交換の効率を良くするためにコンピューターを設計した。コンピューターは大量の音声言語を伝達するが、ボディランゲージを持っていない。対照的に、ボディランゲージは新しいテクノロジーの後押しを与えられてきていない。ボディランゲージは文明の進化によって触れられてきていないままである。ボディランゲージは現代的な都市の真ん中で、素晴らしい原始時代の遺物として生き残っているが、冷たい機会の時代で我々が温かい人間のままであることを保証しているのである。

それ（ボディランゲージ）を見ることは、ジェスチャーと表情、姿勢と動きの魅力的な人間のバレエを目撃することであるが、そのバレエの中で演技者がトレーニングを必要としない毎日のバレエである。そしてその多くはすべての人類によってシェアされているので、われわれ人類を一体化するための最も重要な補佐のままである。

混乱を引き起こす多くの地域的なジェスチャーがあることは事実であるが、そうでないものもさらにたくさんある。共通の話し言葉を持たない二人を同じ部屋に入れてみなさい、そうするとボディランゲージでお互いにコミュニケーションをとり始めるだろう。笑顔と人差し指、ものを飲むしぐさによって、すでに小さな絆は生まれている。彼らを助けるのがそれぞれ異なる音声言語だけでは、彼らの間の分断に橋をかけることはできないだろう。しかし彼ら共有のボディランゲージで、簡単な人間関係を築き始めることができる。

ボディランゲージをこの地球におけるわれわれの未来にとってそれほど重要なものにしていくのはこの点である。何年もの間、人々はジェスチャーを些細で重要でない対象とみなしてきた。一方、話し言葉と書き言葉を研究する言語学は重要な対象とみなされてきた。しかし世界を分断するのは話し言葉であり、世界を結びつけるのはボディランゲージである。話し言葉は、それぞれの文化の内部において意思伝達を行うときにとっても重要であるが、時と共にとてもおおきな違いを発達させた結果、文化的な分断の主な原因となっているのである。話し言葉は、それぞれの民族をそれぞれに分けられた

「種」に近づいていくものに変えるように助長しているのである。

定義によれば、違った種というのは、異種交配しない動物のグループである。話し言葉の違いが大きいことが原因で、人々が言語の壁を乗り越えて結婚する可能性は大きく低下する。もちろん実際そうした結婚は確かに行われるが、たいてい、パートナーの1人が相手の言語を習得して、それゆえにその壁を打ち破るときにだけである。しかしお互いの音声言語を一言も話さずに生活を共にして、子供を増やす夫婦の数は極めて少ない。共通のボディランゲージによって数日の愛情深い日々をともにできるかもしれないが、まもなく詳細な情報交換が必要となって、ますます不満が溜まることになるだろう。異なった言語に分かれることは、結果として、音声言語はわれわれ人類の主な「反」コミュニケーション体系の1つになっているのである。

我々みんなが知っているように、そのような分裂には大きな危険が存在して、これは地球規模で共有されたボディランゲージの人類をまとめる潜在能力を、人類の未来にとってさらにいっそう重要にさせている。世界共通言語—エスペラント語—を導入する勇敢な試みは惨めに失敗したが、その動きを平和的共存への唯一の希望とみなす人々はさほど落胆する必要はない。われわれが笑みかけ、笑い、抱擁し、抱きしめて、指で示したり、うなずいたりできる限り、友好的な未来への希望があるのである。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- verbal 「音声の」
- secondary 「第二の、二次的な」
- reversed 「逆にされた」
- reveal 「明らかにする」
- efficiency 「効率」
- boost 「後押し」
- primeval 「原始時代の」
- relic 「遺物、遺跡」
- ensure 「保証する」
- warmly 「心から」
- posture 「姿勢」
- humanity 「人類」
- aid 「補佐」
- unify 「1つのまとまりにする」
- confusion 「混乱」
- mimed 「身振りで示された」
- bond 「きずな」

- divide 「分断」
- 第5段落第1文 It is this that the language of the body so crucial to our future on this planet. It is ~that~.の強調構文になっている。「ボディランゲージをこの地球におけるわれわれの未来にとってそれほど重要なものになっているのはこの点である」
- crucial 「重要な」
- trivial 「些細な」
- subject 「テーマ, 課題, 対象」
- linguistics 「言語学」
- convert 「変える」
- definition 「定義」
- interbreed 「異種交配させる」
- 第6段落第3文 It does happen, of course, but usually only when one partner has learned the language of the other and therefore destroyed the barrier.強調しようとする動詞の前におかれる does は, 読むときに強勢が置かれる。one partner に対して the other (partner)が使われている。「もちろん実際そうした結婚は確かに行われるが, たいてい, パートナーの1人が相手の言語を習得して, それゆえにその壁を打ち破るときにだけである」
- extremely 「極めて」
- increasingly 「ますます」
- different tongue 「違った言語」
- division 「分断」
- potential 「潜在能力」
- brave 「勇敢な」
- coexistence 「共存」

⑤ ⑦ ⑫ ⑮ ⑲

- ① 「著者は, 音声言語とボディランゲージはお互いに完全に異なった機能を持つと述べている」テキスト第1段落には With our body language the situation is reversed. 「ボディランゲージでは, その状況が逆転する」と書かれている。異なった機能ではないと考えて①は誤りと判断する。
- ② 「著者は, 話し言葉の主な機能は心の中の感情を表すことであると述べている」第1段落第2文では second role 「2番目」となっているので②は誤りである。
- ③ 「ボディランゲージは, 音声言語と手を取り合って発展したが, 古い時代のどこかでその進歩はストップした」テキストに記述されていない。
- ④ 「コンピューターは, 人間の感情の発見と伝達において進歩をもたらした」第2段落の

始めに We have designed computers to improve the efficiency of our information exchange. 「我々はコンピューター設計して情報交換の効率を高めてきた」と述べられているので一致しない。

○detect 「見つける, 発見する」, ○convey 「伝達する」

⑤ 「テクノロジーの発展は音声言語において事実の情報交換を大いに向上させた」第2段落第1文に合致する。

⑥ 「著者は, バレエを1つの芸術としてだけではなく, 世界中の人々を結び付ける便利な道具としてみなしている。」第3段落をみると「ボディランゲージは, バレエのようなものであり, 世界を結び付けることに役立つ」と述べられているので一致していない。

⑦ 「著者は, ボディランゲージをする人間の身体をバレエの種類に例えている」第3段落第1文に合致している。To watch it is to witness a fascinating human ballet of gestures and expressions, of postures and movements, an every day ballet in which the performers need no training. 「それ(ボディランゲージ)を見ることは, ジェスチャーと表情, 姿勢と動きの魅力的な人間のバレエを目撃することであるが, そのバレエの中で演技者がトレーニングを必要としない毎日のバレエである」

⑧ 「人間のバレエは, 訓練を必要としない専門家たちが踊るので魅力的である」第3段落第1文に一致しない。(⑦の解説参考)

⑨ 「ボディランゲージは, 年月をかけて標準化されたので, 世界中の人々はお互い意思を伝え合うことに困らない」テキストに記述されていない。

⑩ 「ボディランゲージは上手に操るためには訓練が必要であるが, 音声言語はそうではない」第3段落第1文の内容にあわないので誤り。(⑦の解説参考) テキストによれば, ボディランゲージは訓練を必要としないと言っているのである。

⑪ 「著者は, 2人が異なった音声言語を話すとき, ボディランゲージも異なっている可能性が高いと述べている」第4段落に they (without a common spoken language) will soon be communicating with one another by means of body language. 「音声言語が異なっても, ボディランゲージでお互いにコミュニケーションをとり始めるだろう」と書かれていることから, 誤りと判断する。

⑫ 「2人が異なった音声言語を話すときできえも, ボディランゲージの助けでお互いに意思を伝え始めることができるだろう」第4段落の後半に一致する。

⑬ 「著者は, ボディランゲージの世界共通言語としての潜在的な可能性に気付き始める国々が増えつつ多くなっているため, ボディランゲージの将来性を高くみている」テキストに述べられていない。

○see future 「将来性をみる」

⑭ 「音声言語における違いは, 交渉の手段として国々にますますボディランゲージにたよるようにさせてきている」テキストに述べられていない。

⑮ 「著者は, 音声言語の違いは人々を大きく分断する傾向があるので, ボディランゲージ

はわれわれの未来にとってより重要であるとみなしている」最終段落第1文(⑱の解説参考)と最終文 **As long as we can smile at one another, laugh, embrace, hug, point and nod, there is hope for a friendly future.** 「われわれが笑みかけ、笑い、抱擁し、抱きしめて、指で示したり、うなずいたりできる限り、友好的な未来への希望があるのである」に、合致する。

⑯「ボディランゲージがパートナー同士で同じであるときにだけ、国際結婚はうまくいく」テキストに記述されていない。

⑰「著者は、子育てに関する意見の違いによって不幸になる国際カップルが世界に多いと述べている」テキストに記述されていない。

⑱「世界共通言語はかつて導入されて、世界大戦がおきたときにまさに成功しようとしていたが、その試みは粉碎された」テキストに記述されていない。

○be about to「まさに～しようとしている」、○universal「全世界の、普遍的な」、○crush「押しつぶす、くしゃくしゃにする」、○attempt「試み」

⑲「ボディランゲージはさまざまな地域の人を結び付ける推進力になるかもしれない」最終段落第1文 **this makes the unifying potential of our globally shared body language even more significant for the future our species.** 「これ(分裂における危険が存在すること)は、地球規模で共有されたボディランゲージの人類をまとめる潜在能力を、人類の未来にとってさらにいっそう重要にさせている」の内容と一致する。

○driving force「原動力、推進力」、○region「地域」

⑳「著者は、若い人々は、離れた国と国の間に存在する壁を克服する為に外国語を学ぶべきであると論じている」テキストに記述されていない。

<出題された単語・熟語・文法>

- infant「幼児、小児」
- mischief「いたづら」
- nephew「甥」
- desperate「自暴自棄の、死に物狂いの」
- diligent「勤勉な」
- imminent「差し迫った」
- infamous「不名誉な、悪名高い」
- analyze「分析する」
- compromise「妥協、妥協によって解決する、示談にする」
- fascinate「魅惑する」
- reconcile「和解させる、一致させる」
- compliment「ほめ言葉」
- incident「(大きな事件に発展しそうな)出来事」

- optimist 「楽道家」
- signature 「署名」
- disadvantage 「不利」
- ambiguous 「あいまいな」
- authority 「権威」
- material 「原料, 資料」
- phenomenon 「現象」
- as well as 「〜と同様の」
- as far as 「〜に関する限りは」
- account 「口座」
- count on 「頼りにする, あてにする」
- take into account 「考慮に入れる」
- Take my word for it. 「信じて本当だよ」
- It's a deal. 「商談成立, それで決まり」
- It's not a big deal 「それはたいした問題ではない」
- You have earned it. 「(卒業できたのは) これまでがんばってきたのだから」
- verbal 「音声の」
- secondary 「第二の, 二次的な」
- reversed 「逆にされた」
- reveal 「明らかにする」
- efficiency 「効率」
- boost 「後押し」
- primeval 「原始時代の」
- relic 「遺物, 遺跡」
- ensure 「保証する」
- warmly 「心から」
- posture 「姿勢」
- humanity 「人類」
- aid 「補佐」
- unify 「1つのまとまりにする」
- confusion 「混乱」
- mimed 「身振りで示された」
- bond 「きずな」
- divide 「分断」
- crucial 「重要な」
- trivial 「些細な」

- subject 「テーマ, 課題, 対象」
- linguistics 「言語学」
- convert 「変える」
- definition 「定義」
- interbreed 「異種交配させる」
- extremely 「極めて」
- increasingly 「ますます」
- different tongue 「違った言語」
- division 「分断」
- unify 「1つにまとめる, 統一化する」
- brave 「勇敢な」
- coexistence 「共存」
- detect 「見つける, 発見する」
- convey 「伝達する」
- be about to 「まさに~しようとしている」
- universal 「全世界の, 普遍的な」
- crush 「押しつぶす, くしゃくしゃにする」
- attempt 「試み」
- driving force 「原動力, 推進力」
- region 「地域」